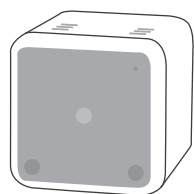


4 検知を利用する場合の推奨取付け位置



みまもり CUBE

CUBE-00001-A CUBE-00002-A

⚠ 検知機能を利用する場合の注意事項 ⚠

- ※ 推奨の取付け位置を必ず守って設置してください。推奨位置から外れた取り付けをしますと、失報や誤報が多くなります。また、推奨の取り付け位置に取り付けた場合でも、利用環境によっては、誤報や失報などが発生することがありますのでご了承ください。最適な検知設定をオペレーターが施しますが、改善できない場合もありますので、併せてご了承ください。
- ※ 画角調整後は、みまもりCUBEをしっかりと固定し、動かないことを確認してください。画角がズレると誤報や失報などの原因になります。
- ※ 生命や財産にかかわるような状況下で使用される事を目的として設計、製造されたものではないため、本製品のシステム停止や誤作動で生命や財産に関わるような損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。その旨を理解した上で本製品を使用することとします。
- ※ みまもりCUBEまたは通信端末の電波環境によっては、画像付メールの遅延や、ライブ映像が表示出来ない場合がありますので、通信環境の良い状態でご利用ください。本製品は、データ通信を利用する機器のため、通信環境の悪い状況下で使用する場合は、本来の性能を十分に発揮できない恐れがありますので、通信環境の良い状態でご利用ください。

オペレーションセンターへ連絡する

- ① オペレーションセンターからの遠隔操作を許可する
まず最初に、みまもり CUBE にログインしてください。



「Menu」をタップ

「システム設定」をタップ

「遠隔サポートの許可」にチェックが入ったことを確認し「保存」

ご注意

「遠隔サポートの許可」にチェックが入っていない場合は、オペレーションセンターから遠隔操作が出来ませんので、必ず①の操作を行ってください。

- ② オペレーターへ検知設定の希望番号を伝える

検知機能を利用する場合は、必ずラムロックオペレーションセンターに電話をお願い致します。専門のオペレーターがリモートサポートにより、本紙**1**～**5**までの設定をみまもりCUBEへ設定します。ご希望の検知設定番号をお伝えください。

- ③ 設定後、検知テストを行い微調整

検知のテストを行って頂き、検知設定の微調整をオペレーターと行います。

- ④ 運用開始

微調整が済んだら、いよいよ運用開始です。

運用中、検知設定の微調整が必要になった場合は、再度オペレーターが微調整を行いますので、オペレーションセンターまでご連絡ください。

1 ドアの出入り検知で徘徊や侵入者対策！！

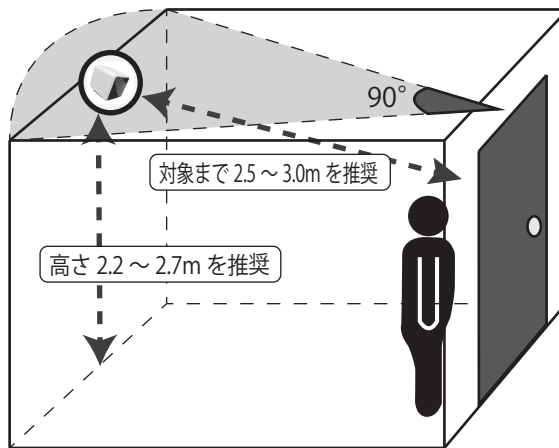
ドア付近で3秒以上滞在すると検知を行います。秒数は1秒単位で変更できますので、「長い間滞在する」という検知が必要な場合に、調整することが可能です。また、ドアの開閉の検知も行えますので、入退出などの出入り検知が可能です。ペットなどの小動物には、反応させないような設定を施しておりますが、明かりの変化などで反応する場合もありますのでご了承ください。

《通常時》

《ドア付近の滞在とドアの開閉を検知》



【推奨取付け位置】



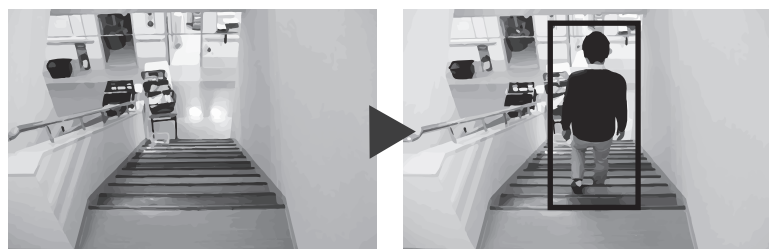
※真正面に設置できない場合、対象物から90°の範囲内で設置してください

2 階段など危険なエリアの滞在検知！！

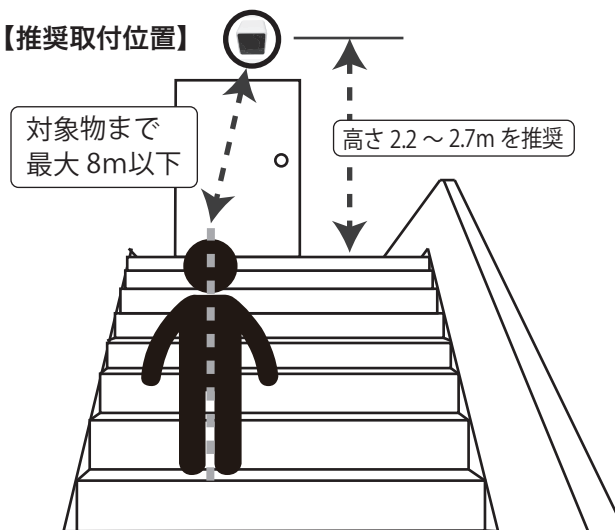
介護施設や病院など、主に夜間帯の職員が手薄になる時間に、危険エリアに滞在する人を検知することができます。例えば、階段に近づく行動や降りる行動を検知し、転倒する前に駆けつけることが可能になります。

《通常時》

《階段に近づいた人を検知》

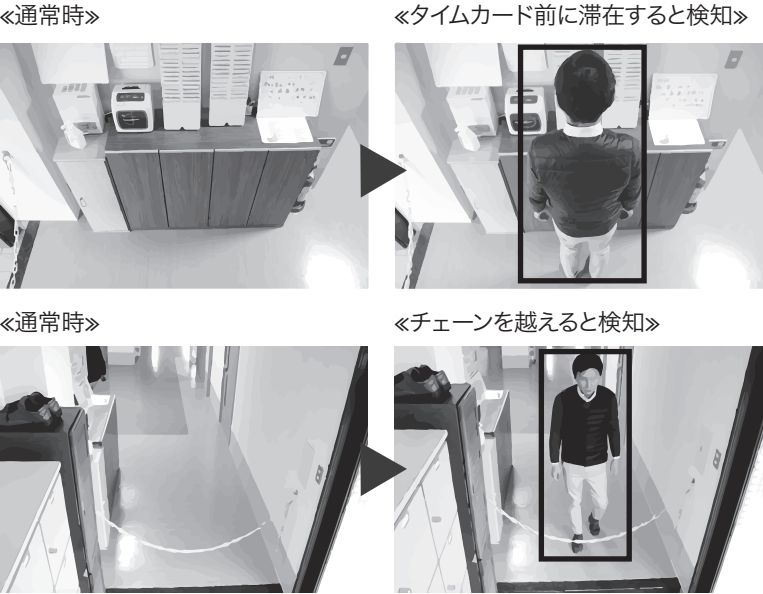


【推奨取付け位置】

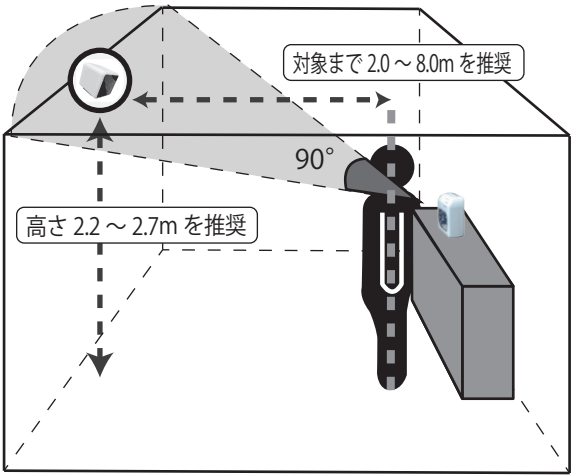


3 出退管理や進入禁止区域の滞在を検知！！

指定したエリアに3秒以上滞在すると検知を行います。例えば、タイムカードを置いている場所を映すことで、出退勤管理ができます。また、本来人が入ってはいけない場所を映すことで、人が侵入したことを検知できるようになります。



【推奨取付位置】

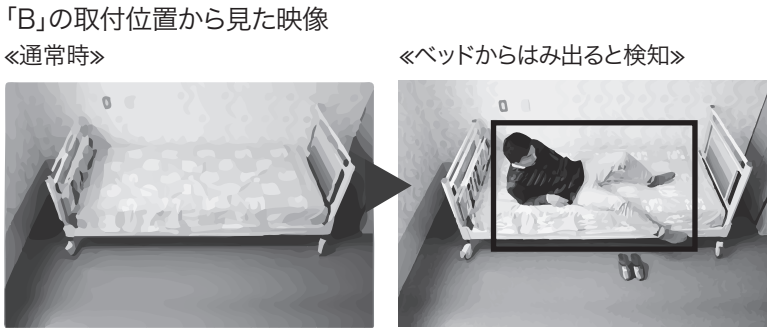
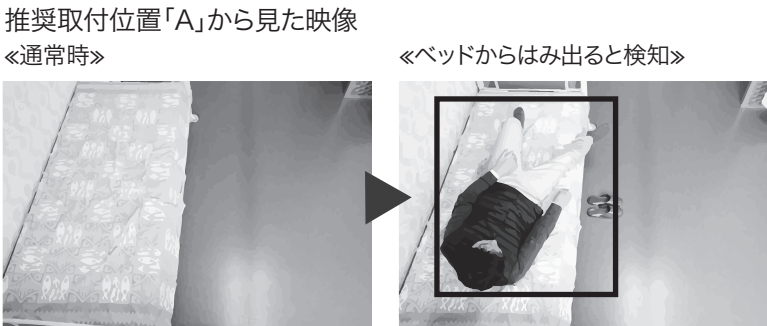


※真正面に設置できない場合、対象物から90°の範囲内で設置してください

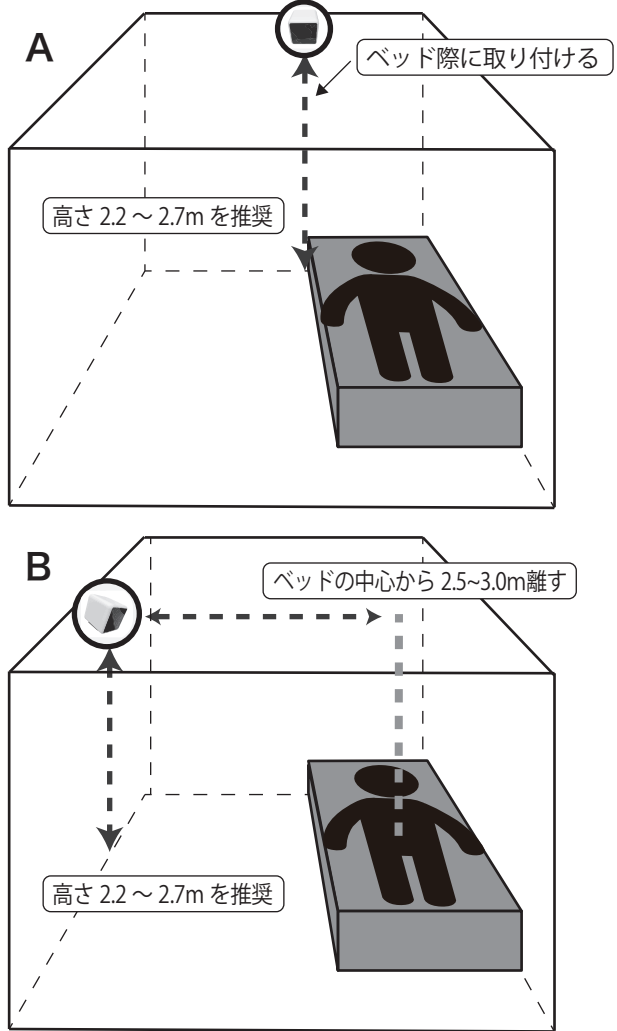
4 ベッドからの離床検知で転倒予防！！

ベッドから体の一部がはみ出ると検知を行います。対象の方の状態により転倒リスクが高い方には1秒で検知をさせ、転倒リスクが低い方には5秒で検知をさせるなど、対象の方の状態によりお知らせのタイミングを変更することが可能です。

「A」の取付位置を推奨しますが、取付ができない場合は、「B」の取付け置でも離床検知が可能です。

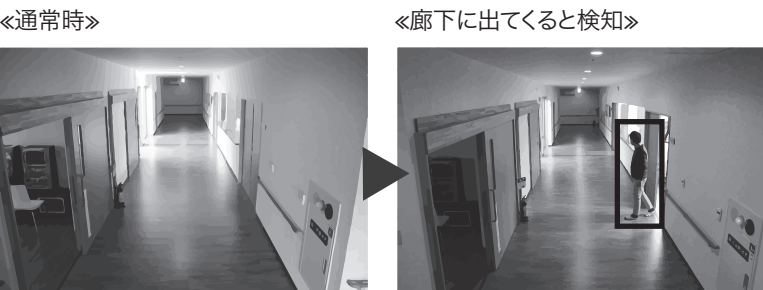


【推奨取付位置】



5 部屋から廊下にて動きを検知する！！

主に夜間帯の職員が手薄になる時間に、部屋から出た人を検知する。部屋の入口に付ける例とは違い、全体的な把握が必要なときは、取り付け位置を廊下により、1台のカメラで、複数の部屋の出入りを見ることができます。ただし、対象の方までの距離が遠い場合は検知できないこともあるので、推奨距離を守ってください。



【推奨取付位置】

